

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公表番号】特表 2002-531673 (P2002-531673A)

【公表日】平成 14 年 9 月 24 日 (2002.9.24)

【出願番号】特願 2000-586830 (P2000-586830)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/22 (2006.01)

C 0 8 K 3/30 (2006.01)

C 0 8 K 3/32 (2006.01)

C 0 8 K 3/38 (2006.01)

C 0 8 L 51/04 (2006.01)

C 0 8 L 57/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 K 3/22

C 0 8 K 3/30

C 0 8 K 3/32

C 0 8 K 3/38

C 0 8 L 51/04

C 0 8 L 57/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 熱可塑性ポリカーボネート、およびポリカーボネート 100 質量部に対して 0.01 ~ 30 質量部の、平均粒子直径が 1 nm ~ 20 μ m の亜鉛化合物（ただし、100 nm またはそれ以下の平均粒子直径を有する酸化亜鉛を除く）を含んでなる熱可塑性成形用組成物。

【請求項 2】 亜鉛化合物として、酸化亜鉛、硫化亜鉛、磷酸亜鉛、ホウ酸亜鉛および / または硫酸亜鉛を含む請求項 1 に記載の熱可塑性成形用組成物。

【請求項 3】 A. 芳香族ポリカーボネート 40 ~ 98 質量部、
B. ビニルコリマー 0 ~ 50 質量部、
C. グラフトポリマー 0.5 ~ 60 質量部、
D. 亜鉛化合物 0.1 ~ 30 質量部

を含んでなる請求項 1 に記載の熱可塑性成形用組成物。

【請求項 4】 燐化合物を難燃剤として含む請求項 3 に記載の熱可塑性成形用組成物。

【請求項 5】 成形品の製造における、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の熱可塑性成形用組成物の使用。

【請求項 6】 請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の熱可塑性成形用組成物を成形することにより製造された成形品。